

「竹内街道・花回廊」プロジェクト

竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道（大道）～1400年活性化プロジェクト

事業の目的

「竹内街道・花回廊」プロジェクトは、地域の方と協働で年間を通じて、街道を季節の花や木で飾っていただくことで、沿線地域を盛り上げる。

（交流）街道のつながりを意識してもらい、沿線地域の多様な交流を促す。

（愛着）管理を地域の方にお願ひし、府民協働で取り組むことで、住んでいる地域への愛着を持ってもらう。

（魅力）街道を訪れる方に対して、地域の方に花を飾っていただき、街道沿線地域全体の魅力を向上する。

（みどり）みどりに親しみ、みどりをより身近に感じてもらう。

整備イメージ

- ・ 季節の花苗
 - ・ 季節の花木
 - ・ 土
 - ・ プランター
 - ・ 竹内街道プレート など
- ⇒地域にあった花飾り



街道沿いの花回廊イメージ例



竹内街道（太子町）

期待できる相乗効果

現在、地域の方と一緒にみどりを通じて、街道の持つ魅力を高めていく「道しるべ」となる「緑の一里塚」を、季節の花でつなぐ花回廊プロジェクトによって、さらなる魅力向上が期待できる。

「花回廊プランター」の活用方法

竹内街道1400年を契機に、沿線地域に花回廊プランターを設置し、来年度以降も継続的に、花苗を自主調達して植えて替えていただくことで、年間を通じて、花いっぱい竹内街道を演出する。

事業イメージ



「竹内街道・花回廊プロジェクト」全体計画イメージ

